

## No.2 地方における時短就労者を対象とした自営型テレワーク推進事業

### (1) 基本情報

交付金名	地方創生推進交付金（横展開タイプ）	担当課	商工労政課 （主体：塩尻市）
事業期間	令和3～5年度（3年間）		
事業の 全体概要	<p>ワークライフバランスや就労に対する価値観が多様化する一方、地方都市においては、フルタイムや時間固定のパートタイムといった従来型の求人が大半を占め、時間が自由になる求人においては職種が限られているのが現状である。その中で、国では、時間にとらわれず自由に働ける新たな就労方法である「自営型テレワーク」を推進しており、子育て世代・介護者・障がい者・若者といった、就労に時間的制約のある求職者、若しくは時間にとらわれずに働きたい求職者が、それぞれのライフスタイルやライフステージに合わせて、安心して働ける地域社会とすることが求められている。</p> <p>自営型テレワークによって就労するためには、「仕事」「就労環境」「QCD」の各要素を確保することが必要であるが、経験やスキル等が不足する個人が、全てを確保することは極めて困難である。そこで塩尻市及び（一財）塩尻市振興公社では「KADO（カド）」を構築し、当市を含め他自治体との広域連携により、都市部の企業等から自営型テレワークが可能な業務を受注し、KADOの職員である「ディレクター」が就労業務環境の構築（マニュアル作成、体制整備等）を行い、個人事業主である自営型テレワーカーに発注し、ディレクターが発注企業と連携してワーカーのサポートや、品質・進捗管理を担う仕組みにより、地方における時短求職者が、就労可能なモデルを実証している。</p> <p>しかし、KADOにおける自営型テレワーカー登録者が約500人に対し、実際に就労できているのは約半分の250人ととどまっているのが現状である。要因としては、①希望者のスキル不足、②自営型テレワーク可能な業務不足、③就労環境不足、④自営型テレワーカーと仕事をマッチングする仕組みや体制が脆弱、の4つの構造的課題が挙げられる。そのため広域連携によって取り組み、より多くの就労希望者が自営型テレワークによって、自由に、安心して、継続的に就労できる状態を各地域において早期に実現することが必要であり、次の4項目についての取り組みを行う。</p>		
	<p>①【自営型テレワーカー育成】 自営型テレワークに必要な初期スキル（ICT、オンラインコミュニケーション等）の習得支援プログラムの実施</p> <p>②【受注業務拡大】 自営型テレワークが可能なICT業務の受注拡大活動（民間プロフェッショナル人材等によるマーケット開拓、営業活動）</p>		

	③【環境整備】 コワーキングスペース及び情報通信機器の整備 ④【仕組み・体制強化】 ・高水準のQCDを求められる受注業務と、各自のスキルや就労可能時間が異なる多様な自営型テレワーカーをマッチングし、ギャップを補完する人材の増強や育成 ・塩尻市以外の自治体でも自立可能となるノウハウや施策、システムの標準化			
大町市 累計 事業費	総事業費	内訳	令和4年度	5,995,000円
			令和5年度	円
	5,995,000円			
大町市 累計 事業費	交付金充当額	内訳	令和4年度	2,997,500円
			令和5年度	円
	2,997,500円			

(2) 令和4年度事業概要

申請年	2年目（大町市は2年目より当該事業に参加）		
本年度の 位置付け	①【自営型テレワーカー育成】 1年目に構築した自営型テレワーカー育成プログラムの展開及び改善		
本年度の 事業内容	①【自営型テレワーカー育成】 <span style="float: right;">対象経費計 5,995,000円</span> 当市においては、広域的に取り組んでいる本事業の枠組みに参加し、自営型テレワーカーの育成として本事業の事業推進主体者である（一財）塩尻市振興公社（KADO）に大町市拠点のディレクター（ワーカーの就労業務環境の構築を行う人）の育成と、ワーカーに対して自営型テレワークに必要な初期スキルの習得支援プログラムを行うほか、拠点の業務運営全般を委託している。 ワーカーの育成とスキルアップを図り、自営型テレワークにより自由に安心して、継続的に就労できる状態を実現することにより、ワーカー登録者の増加を図り、事業を定着させることで、雇用の機会を創出し、安定した雇用の場の確保によるUターン促進と就業者の増加による人口の流出減を目指している。		
	全体事業費：自営型テレワーカー育成プログラム展開・改善業務委託一式 17,000千円 うち 大町市負担額：5,995千円		
本年度 事業費	総事業費		5,995,000円
	交付対象事業費		5,995,000円
	交付金充当額		2,997,500円

(3) 重要業績指標 (KPI)

指 標	基準値 (事業開始前)	累積増加分 (最終年度末)	単年度増加分 (R4年度分)		累積増加分 (R4年度末時点)	
		目標値	目標値	実績値 (達成率)	目標値	実績値 (達成率)
自営型テレワークで収入を得た人数(年間1万円以上)	250 (人)	270	90	33 [21] (36.7%)	140	100 [21] (71.4%)
クライアントからの年間受注金額	250,000 (千円)	262,000	86,000	(56,848) (66.1%)	136,000	(61,230) (45.0%)
本事業に係る年間当期純利益 (クライアントからの受注額-自営型テレワーカーへの発注額-運用経費)	0 (千円)	10,000	0	0	0	0
本事業モデルを新たに採用した自治体数(コワーキングを設置した自治体数)	5 (自治体)	5	1	0 (0%)	2	1 (50%)

※[ ]内は、大町市に関する実績額

(4) 事業の評価

評価	<p><b>C</b> A 地方創生に非常に効果があった C 地方創生に効果があった B 地方創生に相当程度効果があった D 地方創生に対して効果がなかった</p>
効果	<p>働き方が多様化する中で、年度末のワーカー登録者が31名となり、時間にとらわれず自由に働ける新たな就労方法であるテレワーク事業を構築することができた。</p> <p>また、既に塩尻市・安曇野市・糸魚川市により広域連携の枠組みで推進していた本事業に、当市も令和4年度から新たに加わり、テレワークを推進したことにより、スケールメリットを生かしてクライアントからの業務の受注が可能となったことに加え、ワーカーの人材育成を積極的に実施したことでスキルアップにつながり、安定した雇用の場を創出し、働く場の確保につながった。</p>
前年度委員会意見への対応	

(5) 次年度以降の取り組み

<p>今後の方針</p>	<p><b>C</b></p> <p>A 事業の継続（計画通りに事業を継続する）          B 事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）          C 事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う）          D 事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する）          E 事業の終了（当初予定通り事業を終了する）</p>
<p>課題</p>	<p>テレワーク業務の運営・管理を本事業の事業推進主体者である（一財）塩尻市振興公社（KADO）に委託し業務を実施しているが、担当部署の人材不足によりKADOの業務に対する確認作業や業務改善に関する話し合いなど、希薄な部分が生じている。そのため、業務の運営方法に関して連携を深めるとともに、業務に関する確認作業を増やし、より効率的・効果的な運営方法を検討していく必要がある。</p> <p>今後、ワーカー数の増加に伴い、現在の拠点で業務を行うには手狭感があることに加え、クライアントの要望に対応するセキュリティーと機密性を確保するために、拠点の場所を移転し、セキュリティーを強化した施設にする必要がある。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>テレワークは新たな働き方のスタイルとして、多様な働き方ができる労働環境の整備に加え、労働者を増やす点でも有効となることから、テレワーク事業については、今後も継続すべき事業である。</p> <p>現在、広域的な取組みにより事業を推進しているが、効率的な運営方法を実現するため、委託事業者である KADO と連携を密にし、さらなる業務の改善を図っていく。</p> <p>なお、広域連携による事業が令和5年度で終了となることから、事業終了後の運営方法についても検討を進める。</p>

(6) 総合戦略推進委員会からの意見

<p>意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• KADO 全体の受注量や各市への業務の分配状況などの分析を行いながら事業を推進していただきたい。また、広域事業としての実績に併せて、当市における事業の実績も分かりやすく示していただきたい。</li> <li>• テレワークの普及に伴って環境整備に取り組む必要性はあるが、今後の拠点整備については、国の交付金等を活用した施設整備だけでなく、ワーカー個々でテレワーク環境を整えたいという需要もあるので、今後の環境整備のための支援については様々に検討いただきたい。</li> <li>• 目標の達成に向けた課題の原因分析とそれに対する改善策を明確にして取り組むことを繰り返すことにより、大町市におけるテレワークが発展する構造が構築されていくので、次年度以降に効果が現れるような方法を十分検討して進めていただきたい。</li> </ul>
-----------	--